

友好親善都市である須賀川市との交流事業においては、物産展を実施するなど、相互理解、地域の振興、経済交流に努めてまいります。

▼企業誘致・雇用対策

これまで本町では、道内主要都市を結ぶ陸上交通の要衝であるという地理的優位性がありながらも、企業立地に繋がられていない状況にありました。しかし、道央圏連絡道路の南長沼ランブまでの開通に伴い、本町の地理的優位性、潜在力が改めて注目され、昨年は多くの民間施設の開業がなされております。本町としては、引き続き、遊休町有地の洗い出し及び活用方法の検討を図るとともに、工業団地につきましても、未利用地解消のため、地権者に対し活用予定などのヒアリング等を行ったうえで、進出希望企業とのマッチングに努めるとともに、地域経済の牽引や社会課題解決をす

基本政策6 健全な行財政運営で活気あふれるまち 行財政基盤の安定した、町民と行政の協働で築く魅力あるまちづくりを進めます。

▼行財政活動の推進

新型コロナウイルス感染症の収束の状況を見極めながら、「まちづくり会議」による情報共有及びコミュニケーションの促進を図り、町政運営の参考あるいは町政に反映するためのご意見を拝聴し生かせるような場の設置を検討してまいります。

また、引き続き「行政区・団体要望」や「出前講座」等の施策を通じて「町民の声を生かして創る」まちづくりを推進してまいります。あわせて、町内への進出企業やさつぼろ連携中枢都市圏におけるまちづくりパートナー協定企業など、多くの企業・団体との連携を深め「官民連携によるまちづくり」の拡大、充実に取り組めます。さらに、町のブランド力と地域力を向上させ、活力あふれるまちづくりを実現する

から、雇用機会の創出及び雇用者の確保を進めてまいります。

また、地域の関係機関が連携した「南空知通年雇用促進協議会」等を活用し、雇用に関する情報収集、意見交換等を行うてまいります。

基本政策5 多様なひとと文化を育むまち 子どもの社会性・人間性を育てるとともに、誰もが心豊かで生きがいをもてるまちづくりを推進します。

▼生涯学習の充実

「学び、行動し、成果を分かち合うまちづくり」を基本理念とし、個人の学びから一歩踏み出し、学びの成果が学校教育や社会、地域などにおいて行われる多様な学習活動に生かされるよう、生涯学習を推進してまいります。

▼教育の振興

学び・行動し・成果を分かち合う「ながぬまつ子」を育む町独自の義務教育ビジョンと連動した教育環境の整備を行うてまいります。また、教育振興に関する施策につきましても、町と教育

委員会と組織される「総合教育会議」において、協議・調整を行い、共通認識に基づき、総合的かつ計画的な推進を図ってまいります。

▼学校教育の充実

「確かな学力」、「豊かな心」と「健やかな体」を育み、「生きる力」を身に付けられるよう、小中学校が地域と共目指す子ども像を設定・共有し、その実現を図るため、9年間を通じた教育課程を充実させてまいります。

▼高等学校に対する支援

生徒に選ばれる魅力ある高校づくりを期待しており、町の支援としては、2間口の定員堅持を目的とし、各

▼社会体育の充実

「長沼町スポーツ推進計画」に基づき、家庭、学校、地域が連携して、子どもの体力、運動能力向上に努めてまいります。また、スポーツによる交流を推進し、健康で活力ある地域づくりに取り組んでまいります。さらに、長沼町スポー

種検定料やパンフレット作成費などの助成を行うてまいります。

▼社会教育の充実

中学生海外派遣事業を再開し、学校・家庭・地域が連携して豊かな人間性・社会性を身につけた次代を担う青少年の健全育成に努めてまいります。また、必要な知識や技術を習得し、地域づくりの実践につながるよう、生涯各期の学習機会の充実に努めてまいります。

▼文化的振興

子どもたちをはじめ町民が本町の文化や歴史に興味・関心を抱き、郷土愛がかん養されるよう、学習機会等の充実に努めてまいります。また、町民の文化活動を支援し、豊かな地域社会づくりにつながるよう、引き続き各文化団体を支援してまいります。



埋蔵文化財の一部

ラッシュアップしたチームビルディングプランを取り入れたワーケーション推進事業に取り組むなど、都市部から地方への人の流れの増大や関係人口の創出拡大に努め、地域活性化を図ってまいります。

▼魅力的な地域圏の形成

「さつぼろ連携中枢都市圏」や「オール北海道ポールパーク連携協議会」などの広域的な連携も進めながら、将来にわたって活力を維持していく施策を積極的に取り組んでまいります。

▼人材の育成

また、昨年度は関係人口の増大を目的に、北海道型ワーケーション、地方創生テレワーク事業等を実施しました。また、これら事業をブ

以上、令和5年度における、私の町政執行に関する

